

# まるメタルサント増量の新機種！

スワッシュ 2017 年 4 月号 付録_テニスカタログ			
12823551			
CA_010-011_prokennex	色数	4	5Y
	製版	2017/02/08	
製造者 訂正回	ALEX 都司	1	

TENNIS GEAR GUIDE 2017 SPRING

## RACKET



フェデラーやナダル、ジョコグといっただいッテ、オーストラリアの全豪オープンではギリオスらを破って4回戦進出を果たした



### Ki Q+Tour Pro ケーアイキュープラスツアープロ

#### 重さが武器になる セッで使用モデル

325グラムのヘビースペックだが、重くても楽に振れる。むしろ重いから武器になるというプロテクネックス独自のセオリーを反映させた1本だ。ギアの変更には慎重な姿勢を示すというセッにも信頼を寄せる新「キネティック」ラケット。

¥33,000+税 ※フレーム・ソフケース付  
●平均ウェイト/325g ●ストリングパターン/18×20 ●平均バランスポイント/310mm

### Ki Q+Tour ケーアイキュープラスツアー

#### 高い反発&振動吸収。 300グラムの標準機

メタルサントを増量して「キネティック」効果がさらに際立つ300グラム。市場の標準的なウェイトを採用しているから、他メーカーから乗り換える新プロテクネユーザーのニーズにも対応する。優れた反発性と振動吸収性が同時に手に入る最新作。

¥33,000+税 ※フレーム・ソフケース付  
●平均ウェイト/300g ●ストリングパターン/16×19 ●平均バランスポイント/315mm

現在、行革を少しずつ進化させて、本当に高性能なラケットを育て続けるプロテクネックスから、ユーザーは安心して新モデルへとステップアップできる。今春発売のラケット名に「ツアー」の表記が加わったのは、メタルサントを2グラム加重したことによる。様々なアバネーティンが得られる「キネティック」だが、それによりパワーアップが約25%アップしたという。特に、反発性と振動吸収性が大幅に向上。しかもメタルサントを増量したにも関わらず、持った感触は同様に感じるスペック配分しているため、従来のモデルと変わらぬ操作性を維持しながら、パワーアップの恩恵を受けられる。競技者向けの「KQ+5」の面と愛好家向けの「KQ+5」の面シリーズに、それぞれ重量の異なる機種を用意。軽量化の風潮が強まる昨今、ヘビースペックの方には重さに不安を覚える向きもあるかもしれないが、「スペック配分により心配ない」というのがプロテクネックスの主張。むしろ「ラケット重量×スイング速度×ボールバレーのだから、打ち負けない返球になる」と唱える。ゆえに打ち比べてみて無理がなければ、メタルサントの立場としてはヘビースペックを推奨。「質量の詰まった打球を試してほしい」と本格派ユーザーの意向を示す。リピーターの乗り換えはもちろん、新規ユーザーの獲得も期待されるラインナップが出揃った。

【共通スペック】●フレーム全長/27inch ●素材/スバラルテックカーボン+キネティック ●フェイス面積/98in<sup>2</sup> ●フレーム厚/19mm均一 ●グリッパサイズ/2.3 ●推奨テンション/60ポンド以下

2020年5月20日			
ホーム校了紙	体操校了紙	色調校了紙	色見本 ※